

小中一貫教育 みどりの学びのエリア 2025

言葉の力を上げて、分かったこと、できたことを増やす

C R7年度の焦点
エリアで徹底する

分科会：①授業規律

めざす
子ども
像

自ら学ぶ子ども

○自分の意見をもち、伝え、友達の見解も聴く。
○基礎学力の習得とその活用により、ものごとの本質が考えられる。

心身ともに健康で
思いやりのある子ども

○豊かな感性を身につける。
○ものごとに協働して取り組み、果敢に挑戦する。

規範意識を身につけ
自立した子ども

○自ら考え、判断し、行動することができる。

最後までしっかり
話を聴く

板橋区授業スタンダードS
ICTを自己の判断
で使えるようにする

読み解く力の育成
Input:認識 読み取ったこと
読書活動を通して

特別に支援が必要な
子どもへの指導

場をわきまえた
言動ができる

②学ぶ意欲

③基礎・基本

④思いやり

⑤規範意識

B 具体的な手だ

授業の約束5ヶ条
(5～9年生)

- 1 授業が始まる前に準備をする
 - 2 姿勢を正す
 - 3 最後までしっかり話を聴く
 - 4 ノートをしっかりとる
 - 5 自分の考えをもつ
- (1～4年生)
- 1 次の学習準備をする
 - 2 よい姿勢で学習する
 - 3 話を最後まで聴く
 - 4 ていねいにノートを

1 板橋区授業スタンダードS
①授業の目標(めあて)
の明示と振り返りの実施

- ②自力解決(一人で考える)
 - ③協働学習(友達と考える)
 - ④本時の振り返り
- 目標(めあて)が達成されたか
分かったこと・できたこと・
考えたこと ○○字で振り返る
- 2 一人一台パソコン・ICT機器
等の効果的な活用
 - 3 書くことの指導(字数指定)
根拠を基に説明したり書かせる

1 読み解く力の育成
Input:認識 読み取ったこと
Think:思考 分かったこと
考えたこと

- Output:表現 伝える
- 2 学習内容系統図の活用
 - 3 TOFASの実施と分析
 - 4 小中教員相互授業参観
 - 5 補習教室の充実
 - 6 家庭学習の習慣化

- 1 定期的ないじめ
調査・アンケート
- 2 道徳教育の充実
- 3 特別に支援が必要な
子どもへの指導
校内委員会を中心とし
た組織的な取組
- 4 交流や体験活動の充実

5つの生活習慣
(5～9年生)

- 1 あいさつができる
 - 2 提出物を期日までに出す
 - 3 時間を守る
 - 4 場をわきまえた言動ができる
 - 5 身だしなみをきちんとする
- (1～4年生)
- 1 あいさつ・返事をする
 - 2 メモをして忘れ物をしないよ
うにする
 - 3 時間を守り、着席をする
 - 4 ていねいな言葉づかいをする

A 実践項目

授業のマナー
ルールの徹底

学力・学ぶ意欲の向上

基礎・基本の徹底

- 1 いじめ見逃しゼロ
- 2 道徳教育の充実
- 3 不登校問題への対応
- 4 児童生徒の交流活動

- 1 あいさつの励行
- 2 礼儀や言葉遣いの指導
- 3 きまりやルールの指導

交流
活動

- 1 収穫物の販売
9/30(火)
- 2 三駅展示
2月(詳細未)

中出前授業

TOFAS分析・方策

小中教員の相互授業参観1・2学期

標語「いじめ」R2・5

標語「挨拶」R3・6 「時間」R4・7

学力調査結果共有・分析・方策(RST)

学習内容系統図

シンボルマークの活用

小児授業体験・見学 7/6

中リトルT夏

8年職場体験 11/26～

小部活体験 7/8～

Mみどりの
学びの
エリア
研修会

- ① 第1回目の研修会で「板橋スタンダードS」について指導主事より講話。
- ② Cの「R7年度の焦点」は学びのエリアで徹底することを第1回目の研修会の「分科会」(①～⑤分
会)で決め、赤枠に一つ掲げて一年間取り組む。
- ③ 第2回目の研修会は夏季休業中の8月28日(木)15:00から高三中にて都立の高校入試問題の解説。
中学校で必要になる資質・能力を考える。
- ④ 第3回目の研修会は10月29日(水)高五小で13:30～授業公開
教科会で「読み解く力」の育成について系統性、板橋区授業スタンダードS等の検討をする。

～ 研修会時の授業公開 ～

- ① 板橋区授業スタンダードを実践する。
- ② 指導略案は読み解く力の視点を組み
入れ、学習内容系統略図も入れて作
成し、データを共有に保存しておく。